

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2012年10月26日

vol.3 Issue 1

(社)ICD日本部会 2012～2013年度の航海



社団法人が設立されて第三
代目の会長を拝命いたし、重い
責任を負って船出し、皆様のご
協力を頂きながら会務の執行
に取り組んでいる毎日であり
ますが、フェローの皆様におか
れましてはご健勝にお過ごし

のこととお喜び申し上げます。

現在は、各委員会の委員が確定してその活動が始まり、事業運営委員会では担当する三大事業内容の確定に向けて鋭意、検討していただいております。さらに各委員会では、法人組織の活性化に向けて委員各位の

貴重なご意見を集約し、委員会提言として活性化案を提出して頂いており、可能な案から着手する予定であります。

2012年度の年末集会と冬期学会は、総会承認のように同日に開催される予定であり、多くの皆様の参加を期待しております。

また2013年度の総会・認証式に関しても委員会で鋭意検討されており、日程は決まりましたので、是非会場でお会いできますよう、あらかじめの日程調整をお願いいたします。

(社)ICD日本部会 会長 佐藤 吉則

事務局

此の度、佐藤会長の元でICD日本部会の事務局長を拝命致しました。

ICD日本部会の活性化が数年前より問われており、

魅力ある会にすべく、委員会の委員の先生方には御尽力を頂いています。活性化のためには実現可能な範囲で最良の事業を行う事は勿論必要です。そして、フェローの先生方が事業へ積極的に参加して頂く事が必要不可欠だと考えます。

年末集会
冬期学会

2012年12月8日(土) 帝国ホテル
14:00～17:00 冬期学会
17:30～19:30 年末集会

全員の参加を
お願いします

2012年12月8日（土）帝国ホテル光の間に於いて、年末集会と冬期学会が同日開催の予定で、担当委員会の先生方の御努力により準備が進行しています。

多数のフェローに御参加して頂き、充実した素晴し

い時間を一緒に過ごせる事を希望しています。

事務局長 作間 敏信

財 務

法人設立3年目に入り、財政の健全化も正念場を迎えています。執行部、委員一丸となってこの難局に立ち向かって頂きたいと思えます。

法人設立1年目は、一般会計の収支は会員の皆様のたいへんなご尽力によって40万円ほどの黒字となりました。

また、法人設立2年目の昨年度は、東日本大震災の影響で、総会・認証式、懇親会の規模を縮小したこと、国際会長およびアジア部会来賓のご招待を急遽取りやめたことにより、支出が大幅に減少し、結果的に単年度で収支は400万円ほどの黒字になりました。

本年度の予算は既に総会で承認されたところですが、これによりますと、収入金額1070万円に対し、支出金額は1260万円で、収支差額はマイナス190万円となっています。

特別事業がある場合は別として、通年度事業のみで赤字予算を組まなければならないというのは、財政の健全化がここに来て足踏みをしているようにみえます。

9月になれば、2013年度の予算についての審議が始まります。来年度予算は佐藤執行部で初めての予算編成となります。

本会の収入はその約94%が会費と入会金に負っていて、近年退会者の増加や入会者の減少等により収入は減少傾向にあり、財政の健全化にはどうしても支出の削減が避けて通れない状況です。

委員会事業部の常任理事、理事、委員の皆様には、本年度の事業の予算内執行をお願いすると同時に、来年度の予算に向けては収入に見合った予算編成へのご協力をお願いします。

財務主事 根岸 達郎

❖ 国際理事の活動について

前回のニュースレター Vol. 2 で千田 彰 国際理事も書かれていましたが、国際理事は国際本部の役員であり、各部会の利益代表というものではありません。毎年1回の国際理事会への出席は義務付けられており、また千田理事と同様に私もCommittee for communicationsの委員として国際理事会の際に行われる委員会の他にメール委員会などの活動をしています。国際本部からはFacebookを通して、国際会長が訪問した各部会の写真や本部からの情報などが供覧されています。日本部会フェローの方でもFacebookを活用されている方は多いかと思いますが、海外部会では広く利

用されています。国際理事会は昨年インドのニューデリーで行われ、本年は10月20、21日にサンフランシスコで行われます。今回は日本部会から天野前会長のマスターフェローへの推薦があります。

その他に従来から日本部会の認証式に来日される国際会長ご夫妻や韓国、台湾、ミャンマーからの海外来賓などの空港への送迎、宿泊、観光などのお世話を行ってきましたが、これらも国際交流委員会の方々と相談し少しずつ分担して頂ければと思っています。

国際理事 橋本 光二

❖ 国際交流委員会

平成24年5月19日の総会におきまして、国際交流委員会の常任理事を拝命いたしました。



フェローの皆様方のご協力とご指導、御鞭撻を頂きながら2年間の活動を頑張っていく所存です。

委員活動は、以下に列挙したようになります。

1. 年末集会における留学経験者の講演
2. 総会における留学生招待
3. 総会におけるアジア部会との交流
4. アメリカ三軍歯科医師との交流
5. アジア部会の総会認証式への出席

当委員会の活動は、フェロー皆様のご協力が必要不可欠であります。

何卒、御協力の程よろしく申し上げます。

国際交流委員会 常任理事 佐々木慎一

❖ 改革推進委員会

一般社団法人ICD日本部会を設立後、会長からの諮問を受け、年々着々と諸規程の整備が進んでいる。

改革推進委員会は、法人設立が目的ではなく、法人格を持った組織として、対内的、対外的に何をどのような方法で実現させていくべきかを考え、推進してゆく事を目標と位置づけている。

ICD倫理綱領には『崇高な奉仕の精神を自覚し、道義をわきまえ歯科医学の水準を高め、会員としての誇りを維持する。』と掲げられている。

まさしく、現在の低迷した日本の歯科界にとっても、最も必要かつ求められる文言ではなかろうか。

他の先進国に比較し、適正な歯科医療評価が得られていない日本においては歯科界のリーダーとしてのICD日本部会が、国際的視野に立って、綱領に恥じないよう、真の歯科医療を国民、行政、国家に発信し続けて行かねばなければならないのではないかと。幸い、日本部会は、大学のアカデミックなフィールドの先生方が多く在籍されており、その豊富なエビデンスをベー

スに、より良い歯科医療実現を提言するにふさわしい組織である。また法人格を有した組織からの質問状に対し行政、国は返答の義務を負う事も聞いており、さらに踏み込んだ考察に繋がるものと期待している。

今こそ良識あるICD日本部会の組織力を日本の歯科



界に見せつけようではないか。このような活動は必ずや国内において存在感を示すひとつに成りうるものと信じている。

以上の事を踏まえた上で、この組織力を最大限発揮するためには、年次事業等をより効率的かつ円滑に実

施できるよう諸規則を整備し、フェローを支援する事が、我々委員会に課せられた責務であると考え、邁進していく所存である。

改革推進委員会 常任理事 川嶋 仁一

❖ 広報・編集委員会

広報・編集委員会では、年1回の「国際歯科学士会日本部会雑誌」の発行と、ホームページを運営しています。今年度は、しばらく休止していた「雑誌の特集ページ」の復活を計画しています。内容は、現代の多様化する歯科界を乗り越えるために、現在ご活躍中の先生方に「20年後を見据えた将来の展望（仮題）」を執筆していただく予定です。

ホームページに関しては、三大事業をはじめとするICDの活動を迅速に更新し、より充実した内容を目指していきます。

また、対外的には「日本歯科医師会雑誌」に広告のページを計画しています。

広報・編集委員会 委員長 井上 淳子

常任理事 鈴木 設矢：

広報・編集委員として長年従事してきた経験を生かしてICDの将来を見据えた広報活動を行っています。三大事業をはじめ、各行事の際は、皆さんの邪魔になるかと思いますが、プロ顔負けの激写でICDの歴史を撮り続けています。

理事 鏡 宣昭：

学生時代はオーケストラ部でビオラ担当でしたが、今は「和太鼓」に取りつかれ、「鼓童」主催のEarth celebration参加のため、毎年佐渡に行くほど一生懸命に取り組んでいます。

委員長 井上 淳子：

今年は委員長という重責を担いました。自他共に認める「元気」「体力」が取り柄です。先輩理事のご指導の



下将来につながる広報誌作りに邁進していきます。

副委員長 田中 康雅：

今までの広報・編集委員の経験と、大好きなゴルフやお酒のお付き合いを生かし、少しでもお役に立つように頑張ります。ホームページを担当しますのでご協力をお願いします。

委員 白壁 浩之：

広報・編集委員として2年。今後も趣味のカメラを生かし、カメラマンとしても鈴木常任理事の補佐をしながらICD事業を写真に収め続けます。

委員 足立 徹：

広報・編集委員としてまだ1年。駆け出しですが、委員としての仕事を早く覚えるように努力します。また、若さと体力には自信がありますので、機動力を武器に頑張ります。

❖ 事業運営委員会

ICDの低迷化がこしばらく叫ばれている。

会員の減少と高齢化、財務体質の弱体化は確かに顕著である。組織運営が難しくなっているし、負のスパイラルのなかに入った感じさえする。

しかしこうした現象は他の多くの組織にも見られ、どの組織も体制の弱体化と会員数の維持に悩んでいる。

ICDを活力のある組織に復活させるには時代にマッ

チした思い切った改革をする必要がある。

いま問われているのはICDのミッションであり、社会貢献のあり方だと思う。

佐藤新会長のリーダーシップに期待したい。

事業運営委員会 常任理事 松尾 通



❖ 総会・認証式

2013年度、国際歯科学士会（ICD）日本部会総会・認証式は平成25年5月11日（土）に開催を予定しております。

会場はまだ確定ではありませんが、東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル イーストウィング37Fにある「アークヒルズクラブ」で調整を進めております。

佐藤吉則新会長のもと事業運営委員会も新しくなりました。委員長に堀口裕司先生、委員に志田佐和子先生、天野恭彦先生、谷正明先生に就任して頂きました。

事業運営委員会 総会・認証式担当理事 船越 光豊

❖ 年末集会

2012年度の年末集会は12月8日（土）に帝国ホテル光の間で開催されます。

年末集会の担当は本年度より人心を一新し、委員には稲川憲弘先生、鴨井久博先生と本年入会された鈴木明夫先生、小倉喜一郎先生の少数精鋭の布陣です。本年度は初の試みとして年末集会と冬期学会が同日に催されることになりました。時間の関係で従来の特別講演はなくなりますが内容の濃いプランを考えております。委員の貴重な意見によりアトラクションは和楽器とピアノの演奏を企画しております。ぜひ楽しみにして下さい。

事業運営委員会 年末集会担当理事 佐々木高憲

❖ 冬期学会

7月11日に開催された合同委員会において佐藤会長より委嘱された委員会メンバーは、平井順理事、武部



裕光委員長、松島正和副委員長、宮本克樹委員、原田庸平委員、川邊研次委員です。そこで佐藤会長より、今年の冬期学会は年末集会と同日開催にし、12月8日に帝国ホテルで開催することがすでに決定している。予算は大変窮屈になっているが工夫して十分な成果を上げるようにとの指示がありました。財務主事から細かな予算の説明がありましたが、帝国ホテルの室料だけで予算をほとんど使い果たし、講師謝金や学会本来の予算は委員会で調達せよとの難しい命令です。平井理事を先頭に委員会と幹部役員をまとめた冬期学会メンバーリングリストを作り、連絡を密にして企画を立てました。委員会の活躍で下記のような内容で冬期学会を開催することになりました。

多くのフェローの参加をお待ちしています。

事業運営委員会 冬期学会担当委員長 武部 裕光

日 時 平成24年12月8日（土）
午後2時より5時まで

講演Ⅰ

『いつまでもおいしく食べるために』

日本歯科大学教授 菊谷 武 先生

講演Ⅱ

『高齢社会、健康寿命、そしてインプラント医療』

東京歯科大学教授 矢島 安朝 先生

講演Ⅲ

『超高齢社会における歯科医療のあり方』

日本歯科医師会会長 大久保満男 先生

三大事業の開催予告

2012年度年末集会

および冬期学会

2012年12月8日（土）

帝国ホテル

14：00～17：00 冬期学会

17：30～19：30 年末集会

2013年度総会・認証式

2013年5月11日（土）

アークヒルズクラブ（東京）予定

❖ 会員支援委員会

会員支援委員会は、今年度私を含め、総勢9名のメンバーでスタート致しました。委員会としての役割は、その名の通り新しく入会するフェローがICD日本部会という会を認知し1日も早く会員としての自覚を持ち、活動して頂ける様サポートする委員会です。

その為に、総会・認証式の前のオリエンテーションを開催し、認証式そのものが厳粛かつ記憶に残るものになる様にとサポートします。

次に、会員相互の親睦を計る為に学会等を含め、会員の集まる機会の後には、できる限り親睦会を企画し、また、次の会への参加につながる様にと云う思いから開催します。

年1～2回発刊のニュースレターは各種事業の報告・感想等を中心に、各委員会の活動状況等を広く会員の皆様知って頂くためのものです。ホームページでも同じ様な内容をUPしていますが、あえて紙媒体としてのニュースレターをお届けする事で会員の皆様やご家族の皆様にもご一読頂けるようにとの思いから発刊しています。

いつも明るく元気で笑顔の委員会です。皆さんの御協力よろしくお願い致します。

会員支援委員会 常任理事 水谷 忠司



❖ ICD日本部会会員支援委員会報告

日時：9月19日（水）17：00より

場所：山梨県甲府市善光寺町

「レストラン・キャセロール」

平成24年9月19日 第1回会員支援委員会が開催されました。委員会は副会長の大金誠先生、改革推進委

員会の西山和彦先生と会員支援委員7名が出席しました。

常任理事の水谷忠司先生の開会の挨拶・会務報告がありました。その後、部員の小峰一雄先生から「最新の歯科治療について」の講演がありました。

講演内容は、Doc's Best Cementの紹介、糖尿病のシュ

ガーコントロールについてなど、1時間の短い時間の中で、活発な質問・応答もなされとてもためになる講演を聴かせていただきました。

講演の後は、地元山梨県で開業されている2名（花形博子・矢島孝浩先生）の先生も参加された懇親会が開かれました。懇親会では地元甲州で有名なIKEDA

WAINを味わうために用意されたフランス料理に参加者全員が気持ちもお腹も満足されていました。そして多忙の中、当日の会を取り仕切頂いた七沢久子先生たいへんありがとうございました。

報告者 鈴木 佳弘



編集後記



今回、会員支援委員会では移動委員会を開催し、Newsletterの編集方針を討議した。そこで今回から、Facebookを活用してインターネット会議を応用することになった。

この委員会専用のFacebookの会議室は他のユーザーからは閲覧ができず、委員のみが参加でき忌憚のない発言ができるのが特徴である。

このFacebookを活用した新しい試みは、今後当ICD日本部会でも幅広く活用されることが予想される。今回の活用がタダキ台となるよう更なるアクティビティを期待する。

(コミネ)